

2021

四国防災・危機管理 プログラム



Brush up Program
for professional



行政・企業・医療防災・ 危機管理マネージャー 養成コース(香川大学)

地域社会を構成する自治体・企業・医療機関等の地域組織のリスクマネジメント、事業継続計画BCPやMCP策定、住民の安全・安心を守る防災・危機管理マネージャーの育成を目指します。



行政・企業防災・ 危機管理マネージャー 養成コース(徳島大学)

地域社会を構成する自治体・企業・地域組織のリスクマネジメント、組織及び地域のBCP策定、住民の安全・安心を守る防災・危機管理マネージャーの育成を目指します。



学校防災・ 危機管理マネージャー 養成コース(香川大学・徳島大学)

(今年度の募集は行いません)

地域コミュニティと連携して、学校・地域の防災教育、教育継続計画ECP策定、児童・生徒の安全・安心を守る指導者の育成を目指します。



SHIKOKU Disaster Prevention and
Crisis Management Education Program

四国防災共同教育センター

四国防災・危機管理プログラムとは

香川大学と徳島大学が連携して実施するこのプログラムは、東日本大震災の教訓を踏まえて、また近年多発している地震や水害等の広域災害やグローバル化する危機に対して、迅速な状況把握のもとに適切な判断・意思決定を行い、減災・復旧・復興対応や組織・地域再生においてリーダーシップを発揮できる専門家を養成する取り組みです。この事業は香川県及び徳島県と連携し、実践力を備えた専門家の養成を目指しています。また、今後四国国立5大学連携事業として展開することを目指しています。

平成24年度に開始した本プログラムの修了生は、令和元年度までに174人を数え、行政、企業、医療、学校の各分野において、職場や地域における防災・減災・危機管理のリーダーとして活躍しています。近い将来、南海トラフ巨大地震の発生が想定される四国地方においては、防災・危機管理の専門家の養成は必要性かつ緊急性の高い重要な事業であると考えています。関係機関との連携をさらに深め、地域防災力の向上に繋がる事業にして参りたいと考えています。皆様方のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

プログラム概要

- 本事業は、東日本大震災を踏まえて、大規模広域災害やグローバル化する危機に対して適切に対応できる専門家の養成を目標としています。
- 南海トラフ巨大地震の発生が想定される中、香川大学と徳島大学は、「防災士養成講座」や「建設業BCP策定支援」等の連携実績・成果を活用して、香川県と徳島県の協力の下に防災・危機管理の専門家養成プログラムを開設し、社会が必要とする実践力を備えた人材を養成します。
- 本プログラムを受講し修了することにより、災害や危機管理に関する知識の享受、助言、情報提供等を行うことが認められる民間資格「災害・危機管理マネージャー®」が授与されます。

開設授業科目

- 「四国防災・危機管理プログラム」は、通常の大学における専攻とは異なり、各大学研究科・専攻科横断型のプログラムとして開講されます。本プログラムは、コース修了要件に沿って、履修し修得する必要があります。コース修了によって各大学研究科・専攻科の修了となるものではありませんが、プログラムを修了することにより各コース内容に沿った専門知識を身につけることができます。

科目区分	科目名称	概要
共同実施基礎科目	リスクコミュニケーション 危機管理学 災害と健康管理・メンタルヘルスケア 防災・危機管理実習	危機的な状況の発生の予防・回避のための事前対応力、危機発生後に被害を最小化するための事後のリスクコミュニケーションや対処行動、被災者の心のケアが出来るカウンセリング能力を、過去の災害課題や対処事例から習得します。
行政・企業・医療防災・ 危機管理マネージャー 養成科目群 (香川大学)	行政・企業・医療のリスクマネジメント 事業継続計画 (BCP・MCP) の策定と実践	企業などの実務家教員による講義、グループワークでのリアルな組織を想定した事業継続計画の策定演習により、事業継続計画の策定、策定した計画の実効性の確保に必要な知識を習得します。
行政・企業防災・ 危機管理マネージャー 養成科目群 (徳島大学)	行政・企業のリスクマネジメント 事業継続計画 (BCP) の策定と実践	企業などの実務家教員による講義、グループワークでのリアルな組織を想定した事業継続計画の策定演習により、事業継続計画の策定、策定した計画の実効性の確保に必要な知識を習得します。
実務演習科目	行政・企業防災・危機管理実務演習 救急救命・災害医療実務演習	防災・危機管理に関する実務演習を通して、実務能力(職場・地域で実践できる行動力)を習得します。

履修について

- 授業の履修にあたり受講する科目によっては実習等が必要な場合もあり、開講大学院又は外部機関まで行く必要があります。
- 感染症対策等必要に応じて、対面授業を行わずオンライン授業を行う場合があります。オンライン授業により、大学に通学せず職場や自宅からの受講が可能となります。

時間割

四国防災・危機管理プログラムの授業科目は次の時間で開講します。授業時間割の開講科目を基に受講科目の確認をしてください。

授業時間	16:20 ~ 17:50	18:30 ~ 20:00
------	---------------	---------------

- 1つの授業科目は、1週間に1回、1学期間で16回(週)行うことを基本とします。
- 通学日は最大で週2日です。例として、現在開講しているコースでは、1年目の前期(4月~8月)は毎週月・火曜日、後期(10月~2月)は火・水曜日が講義日となります。
- 上記の他に16回の授業をまとめて行う集中講義もあります。

募集人員

四国防災・危機管理プログラム

- 行政・企業・医療防災・危機管理マネージャー養成コース(香川大学) 10名程度
- 行政・企業防災・危機管理マネージャー養成コース(徳島大学) 10名程度
- 学校防災・危機管理マネージャー養成コース(香川・徳島大学) 今年度は募集を行いません

出願資格

- ①大学を卒業した者又は卒業見込みの者
- ②連携大学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者、22歳に達した者

出願手続

出願にあたっては、事前に受講を希望する大学の担当窓口(巻末に掲載)までご連絡ください。

(1)出願期間

出願の締め切りは香川大学が2月末(医学部は2月中旬)、徳島大学は2月中旬です。

(2)出願書類等

申請書類等	摘要
受講申請書	所定の様式
入学願書	所定の様式
履歴書	所定の様式
卒業証明書等	最終出身学校の卒業(卒業見込み)証明書
所属機関等の承諾書	所定の様式 在職中の者は提出してください。
業績等の資料	出願資格②により出願しようとする者は、最終学歴後の学習・研究・実務の状況が分かる資料を提出してください。
検定料	9,800円
その他大学院が必要と認めた書類	大学院が必要と認めた場合は、上記以外の資料の提出をお願いすることがあります。

※詳細は四国防災共同教育センターホームページの「出願案内」をご参照ください。

(3)プログラム受講費用

本プログラムの受講費用は【215,600円】です(教材費含む)。

内訳: 検定料	9,800円	
入学料	28,200円	
授業料	14,800円×12単位	(各年の授業料の前期分は5月、後期分は11月に支払いとなります。)

授業風景

リスクコミュニケーション (2019年度授業より)

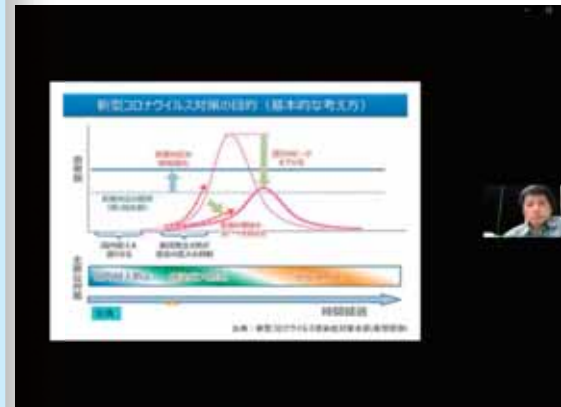


TV会議システムで香川・徳島両大学の課題発表

- グループワークが多く、いろいろな方の意見を聞きながら授業を行うことができ、難しい内容でも受け入れやすかった。
- 外部講師による講義が大変興味がわく内容で、とても充実した時間となった。
- ワークショップなどで意見交換に不安がありましたが、学生の視点が新鮮で、学びや気付く点もありました。社会人ばかりでなく、学生との協働学習の利点だと感じました。

危機管理学 (2020年度授業より)

- 新型コロナウイルスに関する情報などの近年の危機についても取り上げていただき、興味深かったです。
- はじめての遠隔講義でしたが不自由なく十分に受講することができました。また、グループワーク機能といった非常に便利な機能も知ることができました。
- 他大学の学生や社会人と共同でグループワークを行うことにより、様々な考え方を学ぶことができて良かったです。



新型コロナウイルスの対策を遠隔講義で学ぶ

災害と健康管理・メンタルヘルスケア (2019年度授業より)



心理的応急処置(PFA)研修の様子

- 受講前ではなんとなくしか知っていなかった内容について、専門家の方からよりリアルなものを教えていただけて、とても勉強になりました。
- 健康や衛生、PFA研修など普段の生活から活かせるようなものもあり、自分事として学ぶことができた。
- 学生・社会人の協働による学習、特に各種訓練や演習については、多様な意見や考え方をいろいろな年代の意見等が聞くことができて良かった。



SHIKOKU Disaster Prevention and Crisis Management Education Program

VOICE



四国防災・危機管理プログラム受講生の方に聞いてみました!



MESSAGE

講師陣からのメッセージ

感染症対策を含めさまざまな大規模災害が起きています。時代と共に災害は変化、激甚化し、対応する技術も進歩しています。このような災害事例や対応事例なども含め、防災・危機管理の知識を体系的に学び、グループワークや訓練なども交え実践的に学び、自治体・企業・医療・学校・地域などさまざまな領域において、未曾有の危機に対応できる防災、危機管理のリーダーを目指してください。

現場の第一線で活動している実務家教員、被災地調査や防災・減災技術の研究・開発に精力的に取り組んでいる教員が、みなさまの2年間の学びをサポートします。

本プログラムの受講中に出来たさまざまな分野の受講生、講師陣との絆は、修了後みなさまの財産となり、有事の際には頼れる仲間となります。

さあ共に学び、共に教え合い、来たるべき大規模災害に備えましょう。

※各授業・実習の受講生アンケートに基づいて作成しました。

実習風景

防災・危機管理実習 (2020年度授業より: 新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施)



DIG(災害図上訓練)の様子



HUG(避難所運営ゲーム)訓練の様子

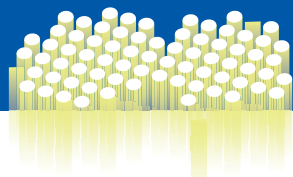
- オンラインでの総括DIG訓練は、新しい試みであったのかと思いますが、判断や解決能力が必要であり、非常に有効な内容でした。BCPの策定や訓練などを通じて、想定外への対応を出来るよう業務に活かしていければと思います。
- 今回、非対面にならざるを得ない状況で準備段階からとても大変だったことがうかがえました。これまでの先輩がどうだったのか分かりませんが、オンラインでもこんなにできるんだなあと思いました。
- 今までオンラインの授業ではありましたが、「新しい生活様式」を取り入れて対面方式の授業も時には実施するのはよいことだと思います。昨日は対面、今日はオンライン授業でしたが、対面の方が実地訓練ならではの焦りを体験することができました。
- 大学院生や社会人の方々と演習をすることで、様々な考え方を学ぶことができました。
- 演習を行わなければわからないことを多く学べた。対面、オンライン両方の演習が経験できたことも非常に良かった。対面、オンラインそれぞれの大変さがあり、両者を経験できたことは自分の糧になると強く感じる。



ビデオオンデマンドによる避難シミュレーションの学習



ウェブ付箋ソフトを使用したオンライン総括DIG訓練



行政

笠井 武志

平成26年度修了
行政・企業防災・危機管理マネージャー
坂出市総務部職員課危機監理室
危機監理専門官



受講のきっかけ

東日本大震災が発生した平成23年4月に坂出市に危機監理室が設置され、消防から危機監理室へ異動になりました。それまでは、消防士・救急救命士として各種災害対応・災害医療などに取り組んできました。また、(一財)消防防災科学センターの図上訓練指導員として全国の自治体などに図上訓練の指導に出かけていましたが、何か新しい話題はないかと考えていたところ、このプログラムがあるのを知り受講しました。

受講してみたの感想

今まで自分が取り組んできたことの正当性の再確認ができた。また、現場で活動している人と研究している人の乖離がかなりあることがわかったので、この乖離を縮めようと思いました。少しは縮められたのかな？

受講を考えている皆様へ

防災や危機管理に興味がある人、自治体で初めて防災・危機管理の部署に配属になった人は、防災・危機管理の基本として受講をお勧めします。

修了後の活動状況

第1期生としてプログラム修了後も坂出市総務部職員課危機監理室に勤務していましたが、平成30年度退職し、平成31年度からは、同じ危機監理室で危機監理専門官として勤務しております。プログラム受講後もそれまでと同じく、坂出市の防災・危機管理に関する業務に取り組むとともに図上訓練指導員として全国に指導に出かけたりしています。また、令和元年度から坂出市の危機監理室の職員、消防職員など10数名を対象に、「坂出市防災・危機管理スペシャリスト養成プログラム」を1年間(40時間程度)かけて養成していきます。そして、令和2年度からそのスペシャリストたちが全職員を対象に10時間程度の防災・危機管理の研修を実施していきます。また、個人的には今年度から香川大学の大学院に入学して防災・危機管理に関する研究をしていく予定です。



図上訓練の様子

医療

山本 和幸

平成30年度修了
行政・企業・医療防災・危機管理マネージャー
(株)スター薬局 代表取締役
香川県薬剤師会 専務理事, 災害対策委員長



受講のきっかけ

東日本大震災と熊本地震の災害派遣を経験し、災害について深く勉強したいと考え、薬剤師会の災害研修や薬事コーディネーター養成研修等に参加していました。その時に「四国防災・危機対応プログラム」の案内があり受講を決めました。

受講してみたの感想

私は医療コースだったのですが、危機管理学やリスクコミュニケーションは医療とは関係ないのではと思っていましたが、医療の現場でも応用できることが沢山あり良かったと思いました。そして、大学院生とのグループワークでは、われわれ社会人とは違う感性で様々な意見を出してくるので学生さんから学ぶことも多かったです。このプログラムを受講して、沢山の方々と繋がりができたことは大きな収穫です。

受講を考えている皆様へ

このプログラムは、危機管理学、リスクコミュニケーションを基礎から学び、それから実践に即したグループワーク等を行っていくので、とても充実した学びができるプログラムだと思います。

修了後の活動状況

私の活動としては、香川県薬剤師会災害対策委員長という立場を利用し、会員に向けての災害関連の研修会を開催しています。そして、5月に開催された北海道薬学大会の胆振東部地震によるブラックアウトのシンポジウムでは基調講演の講師を依頼され「薬局BCPとアクションカードの作成」について講演しました。また、高松市薬剤師会主催の「薬と健康のフェスティバル」では、子供向けの防災の講演を依頼され「クロスロード」を行いゲーム感覚で防災について学んでもらいました。



講演：薬局BCPを策定しよう(香川県薬剤師会災害対策に係る研修会にて)

防災講演会(クロスロード)(たかまつ健康と薬の祭典2019 with 薬剤師にて)

企業

瀬山 淳

平成30年度修了
行政・企業防災・危機管理マネージャー
日亜化学工業株式会社 環境安全本部



受講のきっかけ

私は徳島県の日亜化学工業で、2013年から防災・BCP関係の業務を担当しています。情報収集と勉強のために徳島大学で開催されていたBCP研究会に参加するようになり、その中で四国防災・危機管理プログラムのことを知りました。当時はBCP策定に向けて何をすべきかわからない状態でしたので、とにかく知識を増やしたい一心で会社の了承を得て申し込みました。

受講してみたの感想

まず何より危機管理や事業継続の講義を受けることで、BCPを考える下地となる知識を身につけることができました。また、演習で東かがわ市のBCPについて真剣に考えた経験が、自社のBCP策定に役立ったと感じています。さらにありがたかったのは、リスクコミュニケーションやメンタルヘルスの講義を受けられたことでした。災害対応やBCPを考える上で、様々な立場の人の関わり方、合意形成の方法などを学べたことで、私の仕事に対する姿勢は大きく変わりました。

受講を考えている皆様へ

受講前は正直なところ無事修了できるか、学生さんとコミュニケーションを取れるかなど不安だらけでした。ですが、実際に受けてみると、先生方からは実効性のある助言をたくさんいただき、学生さんの私自身とは異なる視点での考えに触れて、とてもいい刺激を受けました。私を成長させてくれた方々に恩返しするために、今後もこのプログラムに関わっていきます。そして、これから受講するみなさんとの出会いを楽しみにしています。

修了後の活動状況

自社の防災・BCP業務に携わりながら、徳島大学環境防災研究センターのBCP研究会や危機管理実習にて企業の事業継続に関する演習を実施しています。



災害対応演習 復旧対応シミュレーションゲーム(四国防災・危機管理プログラム 防災・危機管理実習)

福祉

青木 正繁

平成27年度修了
行政・企業防災・危機管理マネージャー
医療法人新心会 介護老人保健施設悠心館
支援相談員(SW)
NPO法人災害・危機対応支援センター監事
阿南防災士の会副会長



受講のきっかけ

私は、介護保険施設サービスのひとつであり、高齢者の自立を支援しリハビリで在宅復帰を目指す【介護老人保健施設】で支援相談員(SW)として勤めています。また、施設の防火管理者も努めており、利用者の安心・安全を守る為に初期消火訓練や避難誘導訓練等を指揮・担当して来ました。もっと自身が介護施設における災害対応について学び、介護施設業界でBCPを広めたいとの強い思いから当プログラムコースの受講を決めました。

受講してみたの感想

当プログラムを受講し、様々な災害対応について学ぶ場で、年齢や職種、専門性の違う受講生メンバーと更に専門家の先生方と意見を出し合い、被災者支援や行政機関等との連携に対してより良い手順や手法、対応を学ぶ場(機会)に巡り合えたのが自身の防災知識及び技術の向上に繋がったと思います。当プログラム講義の中には災害対応に対するグループワーク討議も数多くあり、私の勤める介護現場の「チームケア」と同じように各部署間での「連携」をする事の大切さも再確認出来ました。学んだ事項を現場で活かして、介護施設業界でのBCP構築へ向けしっかりと活動をして行きたいです。

受講を考えている皆様へ

全国各地で自然災害が頻発しております。特に介護施設業界の皆さん、是非この機会に利用者の安心・安全を守る防災知識の向上に活かす為のプログラムの受講をお勧めします。介護施設で防火管理者など防災・危機管理の部門を担当する方は、防災・危機管理の基本としてプログラムの受講を是非お願いします。

修了後の活動状況

介護施設業界のみならず地域防災においても当プログラムで学んだ防災知識を十分に活かした新たな防災意識向上策等を、共に学んだ仲間(OB・OG)の皆さんと一緒に展開活動して参ります。



「現場から考える!! 老健のBCP」

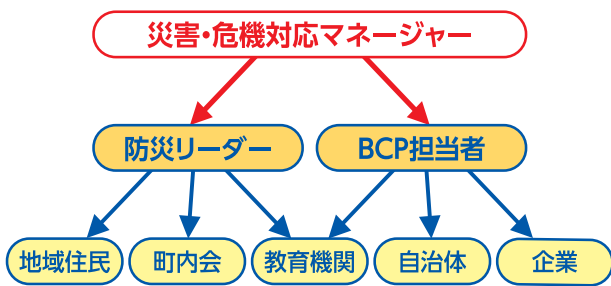
災害・危機対応マネージャーについて



「災害・危機対応マネージャー®」とは、「四国防災・危機管理プログラム」（香川大学・徳島大学共同開設）を受講し修了することで、災害や危機管理に関する知識の享受、助言、情報提供等を行うことが認められた者に授与される民間資格です。

「災害・危機対応マネージャー®」は、リスクコミュニケーションや危機管理学といった防災・危機管理に関する基礎科目だけでなく、各養成コースにおける専門的なリスクマネジメントに関する実践的な知識や技術を習得しています。職場や地域における防災・危機管理のリーダーになることを期待されるだけでなく、職場や地域の防災力向上に寄与すること、さらに、研究機関や自治体等との橋渡しも期待されます。

災害・危機対応マネージャーに期待される位置付け



平成26年度(第1期)～令和元年度(第6期)修了人数

分野	内 訳(所属機関)		小計	合計
行政・企業	社会人	行政	42名	140名
		企業など	34名	
	学生	64名		
医療	社会人	20名	22名	174名
	学生	2名		
学校	社会人	12名	12名	
	学生	0名		

災害・危機対応支援センターによる修了生のフォローアップ

災害・危機対応支援センターは、主たる構成員が災害・危機対応マネージャー®であり、四国の巨大災害に対する防災・危機管理に貢献することを目的に設立されたNPO法人です。四国の防災・減災の研究者・実務者等の専門家が連携、協力し、防災・危機管理に関する人材育成事業、普及啓発事業、教育・研究活動事業を組織的に実施します。

フォローアップ研修会や市民向け防災講座、学校の防災訓練の支援機会の提供などを通じて、災害・危機対応マネージャーのスキルアップや活動のサポートの役割も果たします。



香川大学創造工学部の防災訓練を支援

連絡先

香川大学
四国防災
共同教育センター
事務局

香川大学創造工学部 演習研究棟3F事務局
〒761-0396 香川県高松市林町221番地20
TEL(087)864-2539 FAX(087)864-2554

徳島大学

徳島大学環境防災研究センター
〒770-8506 徳島県徳島市南常三島町2-1
TEL(088)-656-8965

四国防災共同教育センターホームページ | <http://www.kagawa-u.ac.jp/dpec/>



表紙のBPのロゴは、学び直したいと考える社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを「職業実践力育成プログラム」(BP)として文部科学大臣が認定した証です。

詳しくは、文部科学省のHP https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/bp/ をご覧ください。